

副専攻

●副専攻手続き

<登録手続き>

副専攻の履修を希望する場合は、Sophie掲示の日程に従い、4月オリエンテーション期間中に開催のガイダンスへ出席し、手続きを行ってください。定員を上回る履修希望者があった場合は、選抜を行うことがあります。副専攻の登録手続き完了後、副専攻別ガイダンスがあります。

すでに副専攻を履修している場合、他の副専攻を履修したり、副専攻を変更することはできません。

<履修中止手続き>

副専攻の履修を取りやめる場合は、届出が必要です。期日までに教務課に申し出て、履修中止の手続きを行ってください。手続きの日程は別途Sophieでお知らせします。履修中止の手続き後に履修を再開したり、新たな副専攻を登録することはできません。

●副専攻の種類

| 種類 | 副専攻 | 新規募集定員枠 | 履修開始学年 | |
|----------------|-------------------------|---------------------------|------------|-----------|
| 学科が開設する副専攻 | 英語英文学副専攻 英語学・英語教育学分野 | 6名 | 2年次 | |
| | 英米文学分野 | 8名 | | |
| | メディア・コミュニケーション分野 | 6名 | | |
| | | 日本語日本文学副専攻 | なし | 2年次または3年次 |
| | | 史学副専攻 日本史コース 世界史コース | なし なし | 2年次 |
| | | 人間関係副専攻 | なし | 2年次 |
| | | 国際交流副専攻 | なし | 2年次または3年次 |
| | | 哲学副専攻 | なし | 2年次または3年次 |
| 学科横断的に開設される副専攻 | 教育学副専攻 | なし | 2年次または3年次 | |
| | 心理学副専攻 | なし | 2年次 | |
| | 総合リベラル・アーツ副専攻 | なし | 2年次*または3年次 | |
| | グローバル共生副専攻 | なし | 2年次または3年次 | |

※総合リベラル・アーツ副専攻のみ、2年次後期からも登録手続きを行うことができます。手続きの日程は別途Sophieでお知らせします。

●副専攻の修了要件等

- ・修了要件は各副専攻によって異なります。各副専攻の履修要項を確認してください。
- ・副専攻開始以前に修得した単位を副専攻の修了要件に算入できるかどうかについては、各副専攻の履修要項の「履修開始前の単位」で確認してください。
- ・副専攻の修了要件に含めることができる単位は、「関連分野」の科目に限ります。
- ・総合リベラル・アーツ副専攻について、課題に関係する科目のうち所属学科で開講されている科目は「専攻分野」となりますが、4単位まで副専攻の修了要件に含めることができます。
- ・履修中の副専攻は、成績通知書および和文の成績証明書に記載されます。副専攻を修了した場合、卒業時に副専攻修了証が授与され、卒業後は和文の成績証明書に修了した副専攻が記載されます。
- ・副専攻の修了は、卒業することが前提となります。

日本語日本文学副専攻

●修了要件

日本語日本文学副専攻の修了要件は次のとおりです。

- 日本語日本文学副専攻の指定科目の中から、関連分野の単位として、合計20単位以上修得していること

●副専攻指定科目

日本語日本文学副専攻の指定科目は、シラバスおよび授業時間表の副専攻欄に「C1」と記載された科目です。指定科目は開講年度ごとに見直されます。

なお、日本語日本文学科開講科目のうち、**指定科目の対象外**となる科目は、次のとおりです。

◎開講されたすべての年度において対象外の科目

研究法実習Ⅰ、研究法実習Ⅱ、研究法実習Ⅲ、研究法実習Ⅳ、研究法実習Ⅴ、研究法実習Ⅵ、研究法実習Ⅶ、研究法実習Ⅷ、日本語教育の世界、日本語教授法Ⅰ、日本語教授法Ⅱ、日本語教育実習、文章表現法、書道Ⅰ、書道Ⅱ

●履修開始前の単位

副専攻履修開始前に履修した日本語日本文学副専攻指定科目の修得単位は、副専攻の単位に算入できます。

●履修上の注意

- (1) 演習科目は、3・4年次に履修してください。
- (2) 人数制限のある科目（演習科目、文芸創作入門）の履修希望者は、事前の手続きが必要です。優先順位等についてはp.73を参照してください。

史学副専攻

●修了要件

史学副専攻の修了要件は、各コース別に次のとおりです。

1. 日本史コース

- 史学副専攻日本史コースの指定科目の中から、関連分野の単位として、合計20単位以上修得していること

2. 世界史コース

- 史学副専攻世界史コースの指定科目の中から、関連分野の単位として、合計20単位以上修得していること

●副専攻指定科目

史学副専攻各コースの指定科目は、シラバスおよび授業時間表の副専攻欄に「D1」（日本史コース）、「D4」（世界史コース）と記載された科目です。指定科目は開講年度ごとに見直されます。

●履修開始前の単位

副専攻履修開始前に履修した史学副専攻の指定科目の修得単位は、副専攻の単位に算入できます。

●履修上の注意

- (1) 履修コース（日本史コース、世界史コース）にかかわらず、史学副専攻生が履修可能な科目はすべて履修できます。ただし、他コースの科目は副専攻修了要件単位に含まれませんので、注意してください。
- (2) 修了のための最低必要単位数は20単位ですが、30単位以上修得することを推奨します。
- (3) 日本史コース履修者については、2年次において「日本史史料論」「古文書入門」「史料講読Ⅰ」「史料講読Ⅱ」のうち4単位以上の履修、3年次において「日本史演習Ⅱ-1～Ⅱ-4」「資料整理実習」のうち4単位以上の履修を推奨します。なお、「日本史演習Ⅱ-1～Ⅱ-4」を履修する場合は、所定の手続きが必要です。
- (4) 世界史コース履修者について、世界史演習Ⅱ、Ⅲを履修することを推奨します。